

「経営分析参考指標」 2023年度決算分-老人デイサービスの概要- (全体)

<機能性>

区分		通所介護			認知症対応型通所介護			
		2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	
施設数	施設	5,744	5,988	244	549	508	△ 41	
定員数	人	29.6	29.6	0.0	12.9	12.9	0.1	
年間営業日数	日	304.0	304.0	△ 0.0	310.0	309.0	△ 1.0	
利用率	%	68.0	69.6	1.6	62.3	63.3	1.0	
要介護度	-	1.83	1.83	0.00	2.55	2.57	0.03	
送迎	平均時間	分	32.5	32.6	0.2	30.0	30.3	0.3
	最長時間	分	49.6	50.1	0.5	48.0	48.8	0.8
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円	9,475	9,474	△ 0	13,390	13,406	16	
利用者負担額	食費 (1日当たり)	円	595	592	△ 2	629	641	12
	その他 (1日当たり)	円	62	71	9	62	46	△ 16

<従事者の状況>

1施設当たり従事者数	生活相談員	人	1.3	1.3	0.0	1.2	1.2	0.0
	介護職員	人	6.0	5.8	△ 0.2	3.6	3.8	0.2
	その他	人	3.9	3.9	0.0	1.9	2.0	0.1
	計	人	11.2	11.0	△ 0.1	6.7	7.0	0.3
利用者10人当たり従事者数	生活相談員	人	0.66	0.65	△ 0.01	1.45	1.46	0.01
	介護職員	人	3.00	2.85	△ 0.14	4.60	4.72	0.13
	その他	人	1.94	1.91	△ 0.03	2.37	2.42	0.05
	計	人	5.59	5.41	△ 0.18	8.42	8.60	0.19

<収支の状況>

収支の状況	収益	経常収益	サービス活動収益	%	99.1	99.1	0.0	99.1	99.4	0.2
		構成比	サービス活動外収益	%	0.9	0.9	△ 0.0	0.9	0.6	△ 0.2
		サービス活動収益	介護保険関係収益	%	91.6	91.1	△ 0.5	93.6	93.9	0.3
		構成比	利用者等利用料収益	%	7.6	8.0	0.4	6.1	5.8	△ 0.3
			その他	%	0.8	0.9	0.0	0.3	0.3	△ 0.0
	費用	サービス活動収益に対する	人件費	%	68.6	66.9	△ 1.7	71.0	71.5	0.5
			経費	%	26.4	25.7	△ 0.7	20.4	20.3	△ 0.1
		活動費用の割合	給食費	%	4.2	4.2	0.0	3.2	3.3	0.1
			水道光熱費	%	5.3	4.5	△ 0.8	4.2	3.7	△ 0.6
			業務委託費	%	3.8	3.5	△ 0.2	2.7	2.6	△ 0.2
			修繕費	%	0.8	0.7	△ 0.0	0.5	0.6	0.1
			地代家賃	%	2.0	2.3	0.2	1.5	1.6	0.1
			減価償却費	%	4.1	3.9	△ 0.2	3.2	3.0	△ 0.2
		その他	%	0.8	1.1	0.2	0.6	0.5	△ 0.0	
		計	%	100.0	97.6	△ 2.4	95.1	95.3	0.2	
	サービス活動収益対サービス活動増減差額比率	%	0.0	2.4	2.4	4.9	4.7	△ 0.2		
経常収益対経常増減差額比率	%	0.4	2.8	2.4	5.2	4.8	△ 0.4			
従事者1人当たりサービス活動収益	千円	5,235	5,412	177	4,993	4,871	△ 123			
労働生産性	千円	3,637	3,808	171	3,816	3,734	△ 82			
従事者1人当たり人件費	千円	3,593	3,621	28	3,544	3,480	△ 64			
労働分配率	%	98.8	95.1	△ 3.7	92.9	93.2	0.3			
経常収益対支払利息率	%	0.3	0.3	△ 0.0	0.2	0.2	△ 0.0			
赤字施設 (経常増減差額が0未満) の割合	%	49.6	43.9	△ 5.7	40.6	38.4	△ 2.2			

注1)従事者数は、常勤従事者数 (非常勤従事者及び派遣職員等の常勤換算後の従事者数を含めて算出) としています。

注2)減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額 (マイナス値)」を加えた金額で算出しています。

注3)数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4)開設後1年未満の通所介護・認知症対応型通所介護は含まれていません。

《経営分析参考指標》 2023年度決算分-老人デイサービスの概要-（通所介護 事業形態別）

<機能性>

区分		地域密着型通所介護			通常規模型通所介護			
		2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	
施設数	施設	1,472	1,640	168	3,880	3,974	94	
定員数	人	16.6	17.6	1.0	31.9	32.1	0.2	
年間営業日数	日	295.6	294.9	△ 0.7	305.8	306.5	0.7	
利用率	%	71.4	72.8	1.4	66.5	67.9	1.4	
要介護度	-	1.79	1.72	△ 0.07	1.85	1.86	0.00	
送迎	平均時間	分	28.9	29.3	0.4	32.3	32.5	0.2
	最長時間	分	46.2	47.2	0.9	50.3	50.8	0.5
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円	9,932	9,694	△ 238	9,419	9,437	18	
利用者負担額	食費（1日当たり）	円	535	517	△ 18	612	616	4
	その他（1日当たり）	円	90	124	35	52	49	△ 2

<従事者の状況>

1施設当たり従事者数	生活相談員	人	1.2	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0
	介護職員	人	3.4	3.4	△ 0.0	6.4	6.2	△ 0.1
	その他	人	2.4	2.6	0.2	4.2	4.2	0.0
	計	人	7.0	7.2	0.2	11.8	11.8	△ 0.1
利用者10人当たり従事者数	生活相談員	人	1.06	0.99	△ 0.07	0.62	0.62	△ 0.01
	介護職員	人	2.94	2.74	△ 0.20	3.02	2.89	△ 0.13
	その他	人	2.05	2.06	0.00	1.97	1.93	△ 0.04
	計	人	6.05	5.78	△ 0.27	5.62	5.44	△ 0.18

<収支の状況>

収支の状況	収益	経常収益	サービス活動収益	%	98.8	99.0	0.1	99.1	99.1	△ 0.0
		構成比	サービス活動外収益	%	1.2	1.0	△ 0.1	0.9	0.9	0.0
		サービス活動収益	介護保険関係収益	%	91.5	91.6	0.0	91.6	91.1	△ 0.5
		構成比	利用者等利用料収益	%	7.1	7.0	△ 0.0	7.6	8.0	0.4
			その他	%	1.4	1.4	0.0	0.8	0.9	0.1
	費用	サービス活動収益	人件費	%	66.2	64.5	△ 1.7	69.8	68.2	△ 1.6
		に対する	経費	%	27.0	27.1	0.1	26.5	25.6	△ 0.9
		活動費用の割合	給食費	%	3.3	3.3	△ 0.0	4.3	4.4	0.0
			水道光熱費	%	4.5	3.6	△ 0.8	5.6	4.8	△ 0.8
			業務委託費	%	2.7	2.5	△ 0.2	4.0	3.8	△ 0.2
			修繕費	%	0.7	0.6	△ 0.1	0.8	0.8	△ 0.0
			地代家賃	%	4.0	4.5	0.6	1.7	1.8	0.1
			減価償却費	%	3.6	3.4	△ 0.2	4.1	4.0	△ 0.1
			その他	%	1.8	2.0	0.2	0.6	0.8	0.2
			計	%	98.6	97.0	△ 1.6	101.0	98.6	△ 2.4
		サービス活動収益対サービス活動増減差額比率	%	1.4	3.0	1.6	△ 1.0	1.4	2.4	
		経常収益対経常増減差額比率	%	2.1	3.4	1.3	△ 0.6	1.8	2.4	
	従事者1人当たりサービス活動収益	千円	4,913	5,016	104	5,184	5,376	192		
	労働生産性	千円	3,408	3,485	77	3,600	3,787	187		
	従事者1人当たり人件費	千円	3,251	3,237	△ 14	3,618	3,666	48		
	労働分配率	%	95.4	92.9	△ 2.5	100.5	96.8	△ 3.7		
	経常収益対支払利息率	%	0.3	0.3	△ 0.0	0.2	0.2	△ 0.0		
	赤字施設（経常増減差額が0未満）の割合	%	45.9	43.2	△ 2.7	52.3	45.7	△ 6.6		

注1)従事者数は、常勤従事者数（非常勤従事者及び派遣職員等の常勤換算後の従事者数を含めて算出）としています。

注2)減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額（マイナス値）」を加えた金額で算出しています。

注3)数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4)開設後1年未満の通所介護は含まれていません。

「経営分析参考指標」 2023年度決算分-老人デイサービスの概要- (通所介護 事業形態別)

<機能性>

区分		大規模型 (I) 通所介護			大規模型 (II) 通所介護			
		2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	2022年度	2023年度	差引(2023-2022)	
施設数	施設	209	202	△ 7	183	172	△ 11	
定員数	人	44.6	46.1	1.5	68.6	67.0	△ 1.6	
年間営業日数	日	319.8	318.0	△ 1.8	317.4	317.4	△ 0.0	
利用率	%	72.7	74.0	1.2	71.9	76.5	4.6	
要介護度	-	1.86	1.88	0.02	1.69	1.71	0.02	
送迎	平均時間	分	34.0	35.2	1.2	39.2	38.8	△ 0.4
	最長時間	分	53.8	54.6	0.8	57.5	57.0	△ 0.5
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円	9,665	9,824	159	9,006	9,072	66	
利用者負担額	食費 (1日当たり)	円	651	669	18	644	673	30
	その他 (1日当たり)	円	56	54	△ 2	60	81	21

<従事者の状況>

1施設当たり従事者数	生活相談員	人	1.5	1.6	0.0	1.8	1.8	0.1
	介護職員	人	9.5	9.7	0.2	14.1	13.6	△ 0.5
	その他	人	5.9	6.1	0.1	7.4	7.5	0.0
	計	人	17.0	17.3	0.4	23.3	23.0	△ 0.3
利用者10人当たり従事者数	生活相談員	人	0.47	0.46	△ 0.01	0.36	0.36	0.00
	介護職員	人	2.95	2.87	△ 0.09	2.87	2.67	△ 0.20
	その他	人	1.84	1.79	△ 0.04	1.51	1.47	△ 0.05
	計	人	5.26	5.12	△ 0.14	4.74	4.50	△ 0.24

<収支の状況>

収支の状況	収益	経常収益	サービス活動収益	%	99.1	99.2	0.1	99.0	99.2	0.2		
		構成比	サービス活動外収益	%	0.9	0.8	△ 0.1	1.0	0.8	△ 0.2		
		サービス活動収益	介護保険関係収益	%	91.5	90.0	△ 1.5	91.5	90.4	△ 1.2		
		構成比	利用者等利用料収益	%	7.9	9.6	1.7	8.1	9.3	1.3		
	費用	サービス活動収益に対する	経費	その他	%	0.6	0.4	△ 0.2	0.4	0.3	△ 0.1	
			人件費	人件費	%	66.0	63.7	△ 2.3	64.7	62.2	△ 2.4	
		活動費用の割合	サービス活動費用	給食費	給食費	%	4.5	4.4	△ 0.1	4.4	4.5	0.2
				水道光熱費	水道光熱費	%	4.7	4.0	△ 0.7	5.0	4.2	△ 0.7
				業務委託費	業務委託費	%	3.5	3.7	0.2	3.8	3.4	△ 0.3
				修繕費	修繕費	%	0.6	0.8	0.1	0.7	0.7	△ 0.0
				地代家賃	地代家賃	%	1.5	2.2	0.7	2.0	2.0	△ 0.0
				減価償却費	減価償却費	%	3.5	3.2	△ 0.3	5.6	4.7	△ 0.8
		その他	その他	%	0.9	1.1	0.1	0.9	1.2	0.3		
		計	計	%	95.2	92.8	△ 2.3	97.5	93.1	△ 4.4		
	サービス活動収益対サービス活動増減差額比率	%	4.8	7.2	2.3	2.5	6.9	4.4				
	経常収益対経常増減差額比率	%	5.3	7.2	1.9	2.9	7.1	4.3				
	従事者1人当たりサービス活動収益	千円	5,890	6,133	243	6,025	6,384	358				
労働生産性	千円	4,227	4,413	186	4,103	4,492	389					
従事者1人当たり人件費	千円	3,889	3,908	19	3,897	3,974	76					
労働分配率	%	92.0	88.6	△ 3.4	95.0	88.5	△ 6.5					
経常収益対支払利息率	%	0.2	0.2	0.0	0.4	0.3	△ 0.1					
赤字施設 (経常増減差額が0未満) の割合	%	32.5	26.7	△ 5.8	40.4	27.3	△ 13.1					

注1)従事者数は、常勤従事者数 (非常勤従事者及び派遣職員等の常勤換算後の従事者数を含めて算出) としています。

注2)減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額 (マイナス値)」を加えた金額で算出しています。

注3)数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4)開設後1年未満の通所介護は含まれていません。

経営指標一覧 老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護）

経営指標		算式	説明
機能性	1 利用率	年間延べ利用者数※ 1 ÷年間延べ定員数	事業の定員数に対して、どの程度のサービス利用が行われたかを示す指標です。 本指標の値が高いほど施設が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになります。
	2 要介護度	※ 2	利用者の要介護度の平均から介護報酬単価の多寡を判断する指標です。 本指標の値が高いほど介護報酬単価が上がるため、収益増加に寄与することになります。
	3 利用者1人1日当たりサービス活動収益	サービス活動収益 ÷年間延べ利用者数※ 1	サービス活動収益を年間延べ利用者数で割り戻した収益であり、事業全体の収益性を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど収益増加に寄与することになります。
	4 利用者10人当たり従事者数	年間延べ従事者数 ÷年間延べ利用者数※ 1 ×10	利用者10人に対して配置される従事者数からその多寡を判断する指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
費用の適正性	5 人件費率	人件費 ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する人件費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	6 経費率	経費※ 3 ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する経費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	7 減価償却費率	(減価償却費 + 国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値]) ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する減価償却費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	8 従事者1人当たり人件費	人件費 ÷年間平均従事者数※ 4	従事者1人にかかる平均人件費から給与水準を示す指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。

経営指標一覧 老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護）

経営指標		算式	説明
費用の適正性	9 経常収益対支払利息率	支払利息 ÷経常収益	経常収益に対する支払利息の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。
	10 従事者1人当たりサービス活動収益	サービス活動収益 ÷年間平均従事者数×4	従事者1人当たりどの程度のサービス活動収益を得ているかによって効率を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど従事者の収益獲得力が高いことから収益増加あるいは費用削減に寄与することになります。
生産性	11 労働生産性	付加価値額×5 ÷年間平均従事者数×4	従事者1人がどの程度の付加価値を生み出したかを示す指標です。 本指標の値が高いほど、各々の従事者が効率よく価値を生み出し、円滑な運営管理が行われているといえます。
	12 労働分配率	人件費 ÷付加価値額×5	付加価値が人件費にどの程度分配されているかを判断する指標です。 本指標の値が低いほど増減差額の割合は高まります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
収益性	13 サービス活動収益対サービス活動増減差額比率	サービス活動増減差額 ÷サービス活動収益	本業であるサービス活動収益そのものから得られた増減差額を示す指標です。 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。
	14 経常収益対経常増減差額比率	経常増減差額 ÷経常収益	本業であるサービス活動収益に受取利息等を加えた、施設に通常発生している収益から得られた増減差額を示す指標です。 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。

※1「年間延べ利用者数」は、介護予防・日常生活支援総合事業の年間延べ利用者数を含みます。

※2「要介護度」は次の式で算定しています。

$$\text{要介護度} = \{(\text{要支援等の人数} \times 0) + (\text{要介護度1の人数} \times 1) + (\text{要介護度2の人数} \times 2) + (\text{要介護度3の人数} \times 3) + (\text{要介護度4の人数} \times 4) + (\text{要介護度5の人数} \times 5)\} \div \text{年間延べ利用者数}$$

※3「経費」は次の式で算定しています。

$$\text{経費} = \text{事業費} + \text{事務費}$$

※4「年間平均従事者数」は、会計期間中の10月1日時点の従事者数を基準としています。

※5「付加価値額」は次の式で算定しています。

$$\text{付加価値額} = \text{サービス活動収益} - (\text{事業費} + \text{事務費} + \text{減価償却費} + \text{国庫補助金等特別積立金取崩額} [\text{マイナス値}] + \text{徴収不能額})$$